

ベストフィールド開発のねらい

田畑の現状

- 単一作物の連作や施設園芸での多肥による塩類集積など土壤の荒廃化
- 完全発酵した堆肥や有機物の補給不足、連作による土壤微生物の偏りと減少、農薬を使用する栽培体系

土の蘇生＝よみがえる大地へ

分析例

窒素	りん酸	加里	石灰	苦土	ケイ酸	有機物
0.86	0.64	0.15	11.2	0.63	28.8	33.4



四つの効果

・腐植化された有機物を補給

全ての原料を完全に醗酵熟成。有効微生物の増殖や土壤の団粒化を促進し、保水性、保肥力、土壤緩衝能を高めます。

・カニガラを発酵・熟成させて低分子のキトサンとし、キチナーゼを誘導します

植物は病原性菌に感染すると植物キチナーゼでその菌のキチン細胞壁を溶かし生育を阻害します。その素となるのが低分子キトサンです。* 昨今、農薬の繁用でエサとなる昆虫の死骸キチン質が少なくなり、植物の病原菌抵抗性の低下へと繋がっている。

・ケイ酸効果と保肥力向上、肥効の安定化＝モンモリロナイト(粘土鉱物)

原料のモンモリロナイトはケイ酸質を多く含み根張りの向上と茎葉部の強化に効果が有る上、更に土壤の保水力を増大させ、肥料成分の流亡を軽減します。(CECの向上)

・水溶性の石灰分の補給

有機物を含んだ副産石灰はその殆どが水溶性カルシウムになっており、pHを変えることなく石灰分を補給できます。* 土壌pH5.5 以上の場合は、他の石灰資材の施用は必要ありません。

製造原料と製造工程

原料混合

カニガラ

炭酸カルシウム(副産有機石灰)

粘土鉱物(モンモリロナイト)

有機物(米糠、大豆粕、糖蜜粕、菌体肥料など)

有益微生物によって発酵

熟成



破碎造粒

さらに熟成した後、
選別

製袋

ベストフィールド

ベストフィールドのご案内

水田への微生物、ケイ酸、腐植、カルシウムの補給にご活用ください。

微生物群

- リン溶解菌（固定したリンを遊離させる）
- 窒素固定菌（大気中の窒素を土壌に固定）
- 鉄酸化細菌（難溶性の鉄を可給態にする）
- 繊維素分解菌（有機物の腐熟の促進、植物ホルモンの生成）
- リグニン分解菌（繊維質の分解）
- 団粒形成微生物（通気性、保水性、透水性）
- 放線菌（病原菌への拮抗、溶菌、）
- 菌根菌（有害菌の侵入防御）
- 線虫補足菌（寄生性線虫の補足）
- 線虫寄生菌（寄生性線虫への寄生、溶解）

ケイ酸

コロイドケイ酸のため吸収が良く持続性が高い

腐植

原料のすべて（カニガラ、米ぬか、大豆菌体肥料、モンモリロナイト、ケイ酸白土）を発酵、熟成しておりベストフィールドの腐植は大部分が栄養腐植で微生物の生育を促進しまた土壌の物理性の改善。

カルシウム（5%入り）

炭酸カルシウムを発酵させ可給態にしており果菜類のしり腐れの防止

カニガラ

キチン質が放線菌をふやす。